

都留文科大の今とこれから

その三 やがて市民と一体の大学を

学長 上田 薫

都留文科大の特異性の一つはこの大学が今日のレベルを維持してはじめて無事成り立つという点です。経費節約のために少し質を落とそうとすると、たちまち三流四流の大学に転落してしまうという事です。これはなんともきびしいことですが、精一杯ぎりぎりの努力で安定を求めた結果が現状ですから、いたしかたありません。

もし私たちの大学の教育体制が弱められれば、今のようにな国からわざわざ都留を求めてよい学生が集まってくるというようなことは、当然なくなりません。したがって必然的に学生の質は低下します。となれば、すぐれた教授も次々と去り、せつかくの大学はたちまち見る影もなくなりましょう。

質の落ちた学生たちでは市民も迷惑されるのではないかと思いますが、そもそもそのように低落した大学を都留市民がもっているというところに、どんな意味があるのでしょうか。それにそんな大学なら、戦国がきびしくなれば崩壊必至です。とても競争には勝てません。弱い私学と同様の運命です。私がどうあっても大学の質を低めまいと念ずるゆえんです。

さて次に市民に役立つ大学という事です。これは市立である以上原則としてはきわめて大事なことです。この点に力を入れるべきだということは後に説きますが、ただそのことの前提としていえば、大学の状況を十分把握されないまま、短兵急に注文を出されても、よい結果は生まれにくいという事です。これは長い目、広い視野から見てじっくり取り組まねばならぬ問題です。とくに大学が必死に発展を模索している現段階においては、ぜひご理解を得たいことです。私は市民の優秀な子弟にできるだけ多くが大学で学んでほしいと願っておりますし、成人のかたがたにもいろいろなかたちでお望みの勉強をしていただけるようにと期待していますが、そのためにはまず無理のない態勢でそれができるように早急に、しかし慎重にくふうすることが肝要と思います。

これまでもすでにいくつも有意義な講座が開かれ、それぞれ効果をあげていますが、もっと広く自由に力を伸ばす体制ができれば、なお幸いと思っております。秋に開かれる大学の文化祭なども、市民

と学生のよき交流の場になりえましょうし、その内実を高めることによつて、参加する人の満足の度も深まるはずだと考えます。

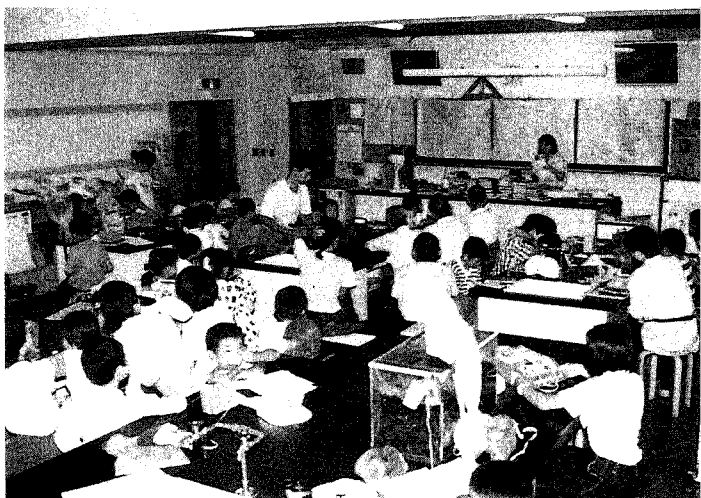
ところで正直なところ私などは十分には分かりかねる事です。が、都留市民がこの声望ある大学をもし失うことがあれば、まことに重大事と思われれます。それは二千数百の学生が町から消えるというだけでなく、市の核になるものがなくなるといふ感じがするので、どうでしょうか。そのため私はつねに重い責任を肩に感じています。私はむろん市立病院のすばらしい成功を願っていますが、同時に大学の没落など絶対あってはならないと念じているのです。

おそらく私たちの大学もやがて安定期にたどりつくころには、内容の上でもっとも市民の要望に即しうだけのゆとりをもてると思われれます。私は十年十五年先の都留市のスケッチを胸に浮かべながら、そこにおける大学の実現の布石として、今日の経営に力を注いでいます。将来の都留市は今にも増して希望のあふれる都市になっていることでしょう。大学の近くに早く駅がほしいと

思います。それが実現すればまず大学の周辺に学園都市にふさわしい町づくりが進み、やがて中身も外見も冒頭に述べたような得がたい大学が力強くユニークな姿を見せると思います。そうなれば市民は安心して胸を張ることができるといふでしょう。数ある日本の大学の中で、明らかに唯一無二のものだからです。そのようになったあかつきには、大学はおそらく市の経済的發展にも大きく寄与するものになっていくのではないのでしょうか。

しかしそこで一つ言えることは誇りうる大学をもつ市民にはそれによりふさわしい文化のセンスが必要であり、それなりの襟度が求められるということになります。そして市民がそのようであることがまた大学をきびしく育てることになります。はつきりいって今は、学生の文化的環境も十分であるとは申しません。教員も当然もっと地元に住住すべきですが、かならずしもそれが容易でないのが現実です。一朝一夕にいかぬことはよく分かりませんが、これだけの大学を育ててこ

れた都留市民のみなさんです。もう一歩踏みこむことは、けつして不可能ではないと信じます。観光客を大勢よぶのも工場をたくさんつくるのも、市の繁栄に大いに役立ちましょう。しかし住み心地の上でも子どもの教育の面でも、問題は続出します。小さくても本物の学園都市を、あらためて構想することは非現実的でしょうか。なにか私にはそれが都留市民の性格にびったりするように思えてなりません。町に足を踏み入れる人に他にはない重厚でさわやかなふんい気を感じさせることができれば、なんとすばらしいではありませんか。



公開講座風景